Game E Mo

ススメ Vol.188

by TTM

同じ絵柄が2枚ずつ入った、ラベンスバー ガー社のメモリーカードは紙質が丈夫で、 素朴な絵柄が美しい。簡単な絵合わせから 神経衰弱など、いろいろ工夫して遊ぶこと ができます。



¥1,980

®Ravensburger

ラベンスバーガー社は、ドイツ南部の ラベンスブルグにて1883年に設立。 出版業から始まり、遊びと教育を結び つける玩具の製作へ。130年間以上、 様々なゲームや良質なパズル、その他 数多くの玩具を作り続けている。

『メモリーゲームの巻』 ラベンスバーガー社 (ドイツ)

マイファーストメモリー

¥1,980

· 人数:2~4人

· 対象:2.5 歳位~

生き物、乗り物、おもちゃの絵柄が4種類ずつ。ジャンルごとに カードの縁が色分けされている。とても厚くて丈夫。

カード 12組、24枚、7.3cm角

テディーマイファースト・メモリー

· 人数:2~4人

· 対象:2 歳位~

クマの形の大きいカード。かわいいクマの絵柄が12種類。

大きくて丈夫で、めくりやすい。

カード 12組、24枚、13.6×7.8cm







ビークルメモリー

¥1,980

人数:2~8人 · 対象:3 歳位~

消防車やパトカーやトラックなど、子どもたちが大好きな 車の絵柄が16種類。丈夫な丸形のカード。

カード 16組、32枚、直径7.7cm



キンダーメモリー

¥1,650

人数:2~8人 対象:4歳位~

食べ物、生き物、乗り物など様々な絵柄が33種類。 簡単な絵合わせから、神経衰弱や言葉遊びなど、



恐竜メモリー

¥1,980

· 人数:2~8人 · 対象: 4 歳位~

人気の恐竜や古代の生物が 36 種類。迫力のある イラストで描かれている。

カード 36組、72枚、6.0cm角













大きさ 7.4cm角 (約) 厚さ 3.3mm

2.2mm

2.2mm

13.6x7.8cm 直径7.7cm 6.0cm角 5.1cm角



カードを外した後の紙枠は、 パズルやロット遊びに使える。



メモリーのペアはよく見ると 左右対称になっている。

『メモリーカード・ペアカードであそぼう』

「メモリーカード」「ペアカード」は同じカードが 2 枚ずつあり、いわゆる神経衰弱遊びができます。日本ではトランプ を使いますが、ヨーロッパでは子どもたちにとって親しみのある絵カードを使います。

何枚かの絵カードが組み合わされたボード(盤)と、それと同じ絵の 1 枚ずつのカードが入った「ロット」と呼ばれる 遊びの絵カードも作られています。小さい子の初めてのゲーム遊びとして簡単な絵合わせや、基本の記憶ゲーム(神経 衰弱)、他にも、年齢に応じていろいろ工夫して遊ぶことができます。

2歳位から同じ絵を集めたり、言葉と絵を合わせたりする遊びが大好き。 言葉をたくさん使って一緒に遊ぶ時間をぜひ楽しんでください。

めくって探す

カードを裏返して場に並べる。 好きなカードがどこに隠れているのか 何度もめくって探し当てる。



「パンダはどこにかくれてるかな?」 「みーつけた」

絵合わせ (マッチング)

同じもの集め①

ペアカードの片方を裏返して山に積む。 もう片方は全て表向きに場に広げる。 山札1枚をめくり、同じ絵柄のカード を場のカードの中から見つける。





同じもの集め②

ペアのカードをよく混ぜ、全て表向きに広げる。 順番交代で、同じ絵柄2枚を探して集める。



運で集めるロット遊び

ペアカードの片方を裏返して山に積む。 もう片方の中から、それぞれ好きな絵柄のカードを4~6枚ずつ 選び、自分の前に表向きに並べ、準備完了。 順番がきたら山札から1枚めくる。 手元に並んでいる絵柄と同じであればそのまま重ねて置く。 他の人の絵柄なら渡す。全員のペアがそろったら終了。



まずは、自分の順番が早く回ってくる、2人遊びから。 2人の順番がよくできるようになったら、次は3人。 「A さんの次が自分で、自分の次が B さん」ということが分かっても、 「Bさんの次がAさん」ということが初めは難しい。

記憶 (メモリー)

片方だけの神経衰弱

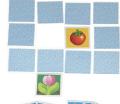
ペアの片方から、好きな絵柄のカードを4~6枚ずつ選び、自分の 前に表向きに並べる。もう片方のカードを裏返して場に並べる。 順番に1枚をめくり、自分の絵柄ならもらい、はずれたら裏返して 次の人。自分のペアが早くそろった人が勝ち。

他の人がめくった「ハズレ」 をよく見て、覚えていた人 が勝てる。他の人がやって いることと、自分のやるこ とが、関係していることを 感じさせるゲーム。



基本の記憶ゲーム(神経衰弱)

カードを全て裏返して場に広げる。 順番に2枚のカードをめくり、同じ絵柄 ならもらえる。違っていたら、裏返して 次の人。当たれば続けてもう1回。 カードを多く集めた人が勝ち。







枚数が多くて難しい場合や、時間がかかり気持ちが途切れてしまう ときは、枚数を少なくする。カードを整列して並べると覚えやすい。

言葉・創作

かるた遊び

ペアの片方を表向きに場に広げる。もう片方は裏返して山札にする。 1人が皆に見せないように山札から1枚とり、カードの特徴を言葉で 伝え、他の人は場のカードから正解を探す。

なぞなぞのような問題文で説明する遊び方にすると難易度が上がる。

しりとり

「めくったカード」に形容詞 や擬態語などを組み合わせ て語句を作り、「前のカード」 につなげていくしりとり。



お話づくり

複数枚のカードを使ってお話しを作る。 上手にできたら拍手。



「赤い屋根のおうちには、 犬が1匹います。」

反射ゲーム

カードを全て裏返して場に広げる。 順番に1人1枚めくっていく。 同じ絵のカードが2枚表になったとき、 その名前を早く言えた人(または早く 手で取れた人)がもらえる。

